

# 8月アイデア 発表会のまとめ

明日の授業の役立つアイデア満載  
アイデア発表会 8月

熊本県小学校教育研究会国語部会  
会長 濱本 竜一郎  
熊本市小学校国語教育研究会  
会長 小山 恵子

参加しやすい時間帯!

オンラインで  
気軽に参加できる!

日時 令和6年  
8月23日 金 17:30-18:30  
@オンライン Zoom

## 発表①

01



### 振り返りアイデア 3選 ~「書くこと」&「読むこと」編~ 荒牧 剛志 先生 (熊本市立健軍小学校)

みなさんの教室では振り返りに取り組まれていますか。「なかなか取り組む時間がな  
いんだよなあ。」「何を書かせたらいいの?」「書かせた後、どう活用すればいい?」  
など様々な声が聞こえてきそうです。私も日々持続可能で子どもたちに有益な振り返り  
のあり方を模索しています。今回は「今後も活用していきたい!」と手ごたえを感じた  
振り返りのアイデアを6年生の「書くこと」「読むこと」の単元をもとに紹介します!

## 発表②

02



### 「読むこと」での学びを自覚し活用するために~『鳥獣戯画』を読むの実践から~ 藤田 沙織 先生 (嘉島町立嘉島西小学校)

「読むこと」での学びをどのように活用するか。また、活用するためには、「読むこと」  
の学習で何を学ばいいのか。このように、互いに関連しあっている学習活動の具体を、  
今回は6年生の『鳥獣戯画』を読むの実践をもとに考えていきます。  
「読んだからわかった!」「学んだことを使ってみよう!」と子どもたちが思える単元構成  
を目指し、授業に取り組んでみました。先生方からのアイデアもぜひお聞かせください。

参加者から・次回予告

# 振り返りアイデア3選～「書くこと」&「読むこと」編～

## 荒牧 剛志 先生(熊本市立健軍小学校)



日々の授業の《振り返り》どのように取り組まれていますか？  
「なかなか取り組む時間がない…、何を、どんなふうにかけるの…」と悩んでいる先生もいるのではないのでしょうか。

そこで、荒牧先生からは①**持続可能!** ②**子どもに生きる振り返りを!**をテーマに、3つのアイデアをご発表いただきました。

### その1. 普段使いの振り返り

振り返りシート①

振り返りシート①	振り返りシート②
<p>反応しながら聞く(◎ ○ △)</p> <p>場面を変化した谷さんの気持ちを考えていこう!(232頁)</p> <p>ルルはなぜカララを許すのか意味が全く分からなかったし、自分も「ごめんさい」を言われないから許せない。けれど、81ページの「カララは何も言わずにクルルのとなり降り立った。クルルは、もしカララが「さあ一緒にいこう!」と言ったら、たどえ飛べたとしても首を横にふるつもりだった。でもカララは何も言わなかった。」というのがクルルには「ごめんさい」に聞こえたのかもしれない。理由はクルルはずっと嫌味を聞いたり、音が雑音に感じたりするから。</p> <p>クルルはカララのことを嫌ってはいなかったのかも知れない。理由はクルルの心にはほとんどカララが嫌いだと思われ文や描写は「ごめんさい」むしろクルルは自分の事を責めはじめたりしてしまっていた。「でも81ページで首を横にふるってあるじゃん!」と思う人も多くは知れませんが、でも普通はそこは怒るつもりだった。と書いた方が絶対分かりやすいと思うし、その方がクルルの心情がはっきり、分かりやすいと思ったから。心が解けていったの意味はカララからのごめんさいを受け取ったと思ったからだと思う。分からなかったのは、クルルが自分を責めた所。カララや仲間が悪いの自分を責めるのは何が悪いのか?と思ったから。次の時間に推理した。カララは話だけだから、心情を推理したい。</p>	<p>私の問いを解決して明らかになってきた中山さんの「情報の運び方」の工夫を振り返ろう。また、次の時間に明らかになったことと書こう。</p> <p>①私の問いを解決して明らかになってきた中山さんの「情報の運び方」の工夫を振り返ろう。また、次の時間に明らかになったことと書こう。</p> <p>②私の問いを解決するときに役に立った考えや友達の見解を振り返ろう。</p> <p>文章だけでなく、題名にも着目した。</p>
<p>◎具体的に考えてますね!</p> <p>□友達から学ぶ姿がイイ!!</p> <p>◎役に立つ学びがゲット!</p> <p>□次が見逃しています!</p> <p>▲注目した資料や言葉は?</p> <p>▲学んだことは何?</p>	<p>◎具体的に考えてますね!</p> <p>□友達から学ぶ姿がイイ!!</p> <p>◎役に立つ学びがゲット!</p> <p>□次が見逃しています!</p> <p>▲注目した資料や言葉は?</p> <p>▲学んだことは何?</p>

振り返りシート②

振り返りシート①... 1枚つづりで教師のコメントもチェック欄にしたこの形。学びの足跡も分かりやすく、フィードバックも負担が少なく、よく活用されている先生も多いのでは?

荒牧先生の一工夫。【自己評価の観点】【コメントの観点】で、どんな学びを大切にしたいか共有し、継続することで学級風土にしていく。先生方も、ぜひ一度考えてみられては??

振り返りシート②... □イ□ノートのカードで単元を通して振り返りで活用。前段では《指導事項意識+次時への見通し》、後段では《学び方の自覚》の項目があります。「明らかになってきたこと」「解決に役立った考えや友達の見解」←こちら視点面白い!

### その2. 単元末の振り返り

単元末の振り返りでは、初めと終わりの自分を比べて、自分の学びや成長を自覚するチャンスです。

荒牧先生の発表で「なるほど!」と思ったのは【言葉の力が、成長してきたと感じたエピソード】という視点です。

エピソードを書くことで、子どもたちが「学んだこと」と「学び方」を具体例とつなげながら振り返っていました。また、友達との関わりもよく書かれるようになったそうです!

エピソード  
+  
言葉の力の成長  
↓  
成長の自覚

★中山さんの説明文を読んだり、パンフレットを書いたりする中で、「必要な情報を見つける力」が成長してきた!と感じたエピソードを教えてください。

### その3. 学びをつなげる振り返り

東京書籍6年「いざという時のために」(書く)

授業で相互評価 → 評価を受けて振り返りで推敲の計画 → 家庭学習で推敲

「書くこと」防災について提案書を書く学習では、授業でルーブリックをもとに友達と相互評価をし、評価を受けて振り返る(今日の家庭学習で推敲する計画)。→家庭学習で実際に推敲を行う。→さらに授業で...このように、授業と家庭学習をつなげる振り返りの活用もあるそうです!

家庭学習

授業...ルーブリックで相互評価

推敲の計画  
↓書き換え



# 参加者からのコメント



お二人の先生の話聞いて学びをどう自覚化するかということの手立てを学ぶことができました。

荒牧先生からは、どう子どもの記憶に残る振り返りにするかということを知ることができました。振り返りは、どうしても教師主導で書いて終わりがちになってしまいますが、エピソードで書くことによって子どもたち同士が読みたくなるようにされていたのがとても印象的でした。そのような形にすることによって、子どもの記憶に残る、その振り返りが残ることによって学びの感動をより子どもたちが意識できるのかなと思いました。

藤田先生からは、日常生活と関連されたご実践を提案していただきました。「読むこと」と「書くこと」とをどうつなげるか、読んだことを書くことにどうつなげるか、これは永遠のテーマだと思いました。先生は、子どもたちが着目した言葉をキーワード化したり、間とまとめたりされていました。そうした言葉に新たな見方・考え方を吹き込むことで書くことにつながっていったのではないかと思います。貴重なお二人のいご実践ありがとうございました。

すぐ試したくなる実践の数々、ありがとうございました！「エピソード」で振り返りをつづることは、学習者の記憶の定着という点からも、そしてナチュラルな子どもの思考や感覚を引き出すという点からも、2学期から真似したいと思っています！また、「読む」単元を「書く」単元に汎用させていくために、カリキュラムを工夫したり、「～語」で分類整理したりするなど、活用したくなる仕掛けもたくさん学ばせていただきました。参加された先生方の発言からの学びも多く、具体的にどう日常に生かそうかイメージも湧きやすくなりました。また次回の発表会も楽しみます！

お二人の先生方が、日々の授業を大切にしておられることが伝わってきて、すばらしいと思いました。ありがとうございました😊

## 次回予告

明日の授業の役立つアイデア満載

# アイデア発表会 9月

参加しやすい時間帯！

日時

令和6年

9月27日

金

17:30-18:30

@オンライン Zoom

オンラインで  
気軽に参加できる！



Idea

意欲と見通しをもって学習に向かうためのループリック

中野 凌太郎 先生 (熊本市立池上小学校)

ループリックと聞いてなんとなく知っているけど、授業にどのように活用しているのかお悩みの先生も多いのではないのでしょうか。そんなループリックを振り返りシートに取り入れました。読みの視点の焦点化や子どもの授業意欲の向上、学び方の自覚等で効果的でした。また、振り返りをチェックする教師側の負担も少ないです。子どもの実際の振り返りシートをもとに、どのように作成・活用していったのかを紹介させていただきます。



Idea

能動的に学び続ける力を身につけるために

矢住 美亜 先生 (天草市立本渡南小学校)

校内研修で児童一人一人の「よりよい学び」に繋がる授業づくりを目指し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っていく研究を進めています。「能動的に学び続ける力」を身に付けていくために、「教師主導」から「児童主体」の授業へ、「一斉授業」から「複線型の授業」への授業改善に向けた実践の一部を紹介させていただきます。

熊本県小学校教育研究会国語部会  
会長 濱本 竜一郎  
熊本市小学校国語教育研究会  
会長 小山 恵子

